

## NEWS

駐車場が広くなりました！  
これからも地域に根差した優しい医療を  
ご提供できるようスタッフ一同頑張ります☆



ささえーる+ インタビューコラム

✦女性の健康インタビュー



子どもの医療現場から、今つたえたいこと

毎月更新

女性の健康のこと

新潟日報地域包括ケアネット ささえーる+  
女性のための健康コラムに院長の記事が掲載  
されています。ぜひご覧ください。

[http://sasayell.jp/column/interview03\\_01.html](http://sasayell.jp/column/interview03_01.html)

ユニフォームが新しくなりました！  
より動きやすくなりました☆



## ママとパパと赤ちゃんのつぶやきノートから抜粋

### 初産の旦那さまからのつぶやき

予定日を一週以上過ぎ、妻の体調の変化もほぼ無かったため、「誕生日は週明けの〇月になるな」なんて油断していたところでの入院。正直病院に着いた後もいよいよ出産という実感が無く。夜勤の助産師さんから「旦那さんも手伝わなきゃ！出てくるときだけ近くにいればいいわけじゃないんだよ！！」とご注意を受ける始末。そして時間が経つにつれて強い陣痛を訴える妻の姿を見てようやく状況を理解するに至りました。朝になったあたりから妻の苦しみ方が明らかに深刻になり、早く楽になりたいと言いながらも子宮口が広がりにくくはと陣痛に耐える時間が続きました。分娩台についてからも痛みで泣き叫び続け、入院から17時間かけての出産。本当に難産だったと思います。こういう時、男って何にも出来ないもんだとつくづく実感しました。苦しみに苦しみをぬいて元気な赤ちゃんを産んでくれた妻。本当にお疲れ様。そして誕生した我が子へ～あなたは仕事の都合でどうしても離れなければいけなかった私がタクシーに乗り込む直前で産まれてきてくれましたね。産まれた瞬間から親孝行をしてくれた本当に良い子です。親として未熟な部分も多いけれど、これからずっとよろしくね。～最後になりましたが、今回の出産に尽力くださった病院スタッフの皆さんに心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

### 経産婦さんらのつぶやき

1人目から8年はなれ、不妊治療や流産をくりかえすうちに筋腫が大きくなり、2年前、とてもすばらしい先生がいると紹介してもらって、徳永先生のところへ来ることができました。その時は、上越に住んでいたのですが、通っていた所では、子宮ごと取るしか方法がない...と言われ、ガーンと頭をなぐられた思いでした。徳永先生はそんな筋腫をうまく、くりぬいてくれ、体調がすっかり良くなることができました。その後は不妊治療もやめ、上の子と楽しくすごそうと考えて過ごしている中での妊娠...。あの大きな筋腫をとるオペをしたのに...、すごい...ありがたい...やっぱり徳永先生にオペしていただいたおかげだ。とささと思いました。その思いは家族も同じで夫も母も皆、口をそろえて「徳永先生じゃなければ、この子はうまれて来なかったね」と言っていました。筋腫オペの時も今回の帝王切開の時も、オペ室の中で助産師さん達が沢山声をかけてくれ、なごやかな気持ちにさせていただき安心してオペ時間をすごせました。産後の痛みの時もスタッフの皆さんに支えられて、のりきれました。とくなが女性クリニックで出産できて本当に良かったです。先生の激務ぶりが心配ですがこれからもずっとお元気でがんばってほしいです。



平成27年12月24日クリスマスイブに  
39w5dで産まれました。  
3050gの男の子です。  
困り顔がとってもかわいいです。



平成28年1月3日に  
38w3dで2550gの  
女の子が産まれました。  
ついに平成28年生まれです☆